

自主財源の確保も 基金の取り崩しで収支均衡

平成30年度は、厚岸町の歳入全体の大きな割合を占める地方交付税（平成30年度では約39・5割）が、前年度比1・3割減の41億3636万円となりました。また、自主財源である町税の現年課税収納率が99・25割（対前年度比0・04ポイントの減）となり、町税全体の収納額としては、前年度比2・1割減の10億8833万円となりました。歳入全体としては、前年度比2・0割増の1004億6940万円となりました。

一方歳出においては、平成30年度の重点施策として位置付けた子育て支援対策では、老朽化した真竜保育所と宮園保育所を統合し移転する、（仮称）湖北地区保育所建設事業の実施設計業務等（5445万円）と、厚岸保育所を移転改築するための基本設計業務等（3155万円）を実施したほか、18歳までの子どもにかかる医療費の無料化（2049万円）や、出産祝金を第1子から一律10万円支給（490万円）するよう制度を拡充しました。

産業振興対策では、外来船の招致を図るため、若竹第2埠頭に休憩施設の整備（907万円）を進めたほか、町営牧場隔離牛舎の施設整備（1億3393万円）を進め、預託牛の飼

育環境の改善を図るなど、基盤産業の振興を進めてきました。

防災・減災対策では、防災行政無線の親局等の更新によりデジタル化（3億352万円）を進めたほか、お供山津波避難階段の製作等（1億5106万円）を実施し、不測の災害に備えた施策を推進しました。

また、ふるさと納税の寄付者への返礼品制度による厚岸町の特産品のPRと地場産品の需要拡大を図った（2億7143万円）ほか、デマンド



町 債

会 計	残 高
一般会計	95億 147万円
簡易水道事業会計	9329万円
下水道事業会計	35億 590万円
水道事業会計	12億4955万円
病院事業会計	9億3829万円
残高合計	152億8850万円

企 業 会 計

■水道事業会計

収 益 的 収 入	2億8979万円	収 益 的 支 出	2億4978万円
資 本 的 収 入	2523万円	資 本 的 支 出	1億7189万円
一般会計からの 負 担 金	1141万円		
業 務 量	給水人口 8,447人（239人減） 給水戸数 5,157戸（7戸減） 配水量 1,280,004㎡（4,046㎡減）		

■病院事業会計

収 益 的 収 入	12億3985万円	収 益 的 支 出	11億9621万円
資 本 的 収 入	1億9430万円	資 本 的 支 出	1億9430万円
一般会計からの 負 担 金	5億8543万円		
業 務 量	入院患者延べ 10,061人（2,461人減） 外来患者延べ 45,399人（3,088人減）		

